

計画事業番号	00527	事務事業名	地域にぎわい応援事業	担当部署	経済部商工業振興課	電話	4612
--------	-------	-------	------------	------	-----------	----	------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等	北広島市地域にぎわい応援事業交付金交付要領			
事務事業開始年度	平成28年度		個別計画等	商工業振興基本計画(H23～)			
〃 終了予定年度	平成30年度						
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 4 章) 活気ある産業のまち						
	(第 3 節) 商業の振興						
	(施策 2) 商業経営の安定						
2 対象	商工会						
3 目的と内容	北広島市内の消費を喚起し、経済の活性化及び商工業の振興に寄与する商工会地域にぎわい応援事業を支援する。						
4 実施内容 (手段)	28年度まで	北広島商工会が地域の消費拡大やにぎわい創出、地域経済の活性化と地元商工業の振興のために実施する商工会地域にぎわい応援事業に交付金を交付する。					
	29年度	前年度までと同様に、北広島商工会が地域の消費拡大やにぎわい創出、地域経済の活性化と地元商工業の振興のために実施する商工会地域にぎわい応援事業に交付金を交付する。					

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
北広島商工会地域にぎわい応援事業へ平成30年度まで交付金を交付する。	参加商工業者の店舗で買い物をした場合に1枚/1000円で応募シールを進呈。口数に応じた抽選に参加することができる抽選会事業に対して交付金を交付。 参加事業者114店舗 応募総数14,009通	北広島商工会地域にぎわい応援事業へ平成30年度まで交付金を交付する。		北広島商工会地域にぎわい応援事業へ平成30年度まで交付金を交付する。			

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性			評価区分
前年度 2次評価	—	平成28年度からの新規事業			「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	現状継続とする。			
2次評価	現状継続	現状継続とする。			

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			1,500		1,500		1,500		0	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	1,500		1,500		1,500		0	
	① 合計	1,500		1,500		1,500		0		
	人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00		
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	420	0	420	0	420	0	0	0	
総事業費①+④			1,920		1,920		1,920		0	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①参加店舗数	店	150	150	150	-
		実績値	114			
	②経済効果 (応募シール枚数×1,000円)	千円	100,000	100,000	100,000	-
		実績値	91,618			
③顧客リピーター率(アンケートによる)	目標値	%	100	100	100	-
	実績値		96			
④	目標値					
	実績値					
成果指標	①	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
	②	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
③	目標値					
	【指標の定義(算式等)】	実績値				

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	消費を喚起し、市内経済への波及効果が見込める事業への支援は妥当性がある。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	利用者アンケート結果より、また応募したいと答えた顧客リピーター率が96%と非常に高いこと、経済効果が90,000千円以上あることなどから、成果は上がっている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	周知方法等を検討することにより、経済効果100,000千円達成、顧客リピーター率100%達成の余地はある。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	現在の成果を維持するためには、コスト削減の余地はない。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	---	---